



あなたのこれからに贈りたい
Live Letter from MG



- | | | | | | |
|---|---|--|-----------------------------------|--|---|
| 15
MGにこの人あり
メアリー・B・オールト | 14
CAMPUS NEWS
サークル紹介 | 13
卒業生の仕事場訪問
地域とのつながり
これまで
これからも | 11
MY way MG way | 09
ACTION
特集
第3回宮城学院クリスマスマーケット
「すべてのビジネスの基礎」を学ぶ
「事実を見極めるプロセス」を学ぶ
学問へのいざない | 07
05
01
誌上ゼミ
"Why"を問い合わせながら
ものごとを見て考える力を育てる |
|---|---|--|-----------------------------------|--|---|

「Partir (パルティール)」はフランス語で「出発する」
新しい時代に飛び立とうとする女性たちを支え、励ますために、
宮城学院女子大学から発信するコミュニケーション情報誌です。



オールトは1886(明治19)年、エリザベス・R・プールボーと共に来日(当時22歳)。宮城女学校の創設にあたり、後に初代校長を務めるプールボーの補佐役として、協力者として尽力します。

翌年、ドイツ改革派教会が日本に派遣した宣教師ウイリアム・E・ホーイと結婚。その後、宮城女学校の専任教師の職から離れるも、夫と共に伝道活動をしながら、時間講師として学生たちに編み物や語学などを教えました。1901(明治34)年には、夫のホーイと子どもたちと一緒に中国湖南省岳州へと移り、その生涯を伝道活動と教育事業に捧げました。



①1889(明治22)年、在仙の宣教師たちと。写真右奥がオールトとホーイ ②1900(明治33)年、中国への移住前に。写真右前がオールトとその家族 ③晩年のオールト

MG archives

オールトと長女のガートルード
親子二代で宮城学院に貢献

オールトの長女・ガートルードは、1892(明治25)年7月、日本で誕生。中国で育った彼女はアメリカの大学を卒業後、36年もの間、中国での伝道活動に奉仕します。

第2次世界大戦後、中国の社会情勢が変化したこともあり、1949(昭和24)年、日本に移り、宮城学院女子大学の創設に貢献。その後10年間、ガートルードは宮城学院中・高・大学で英語を教えるなど、母親のオールトと親子二代で、宮城学院のために尽力しました。



幼少期のガートルードを抱くオールトとホーイ

「英語学基礎セミナー」

“Why”を問い合わせながら ものごとを見て考える力を育てる

質問ができるようになり、英語力と「人間力」の成長を実感

授業の一番の目標は
質問する力を育てる」と

遊佐 私たちの「英語学基礎セミナー」

の基本は英語学、英語の言語学で、扱うトピックは多岐にわたります。この1年間は「どうしたら質問ができるのか」に重点をおいて、授業を進めてきました。



遊佐 典昭 教授

ひとつ質問に對して私が話を展開して、最終的に英語学の話に終結するようになります。皆さんは、どうしてこのゼミを選びましたか。

四倉 2年生で受けた遊佐先生の授業

は、必ず「前回の講義について質問はありますか」で始まり、学生の質問で授業を作りあげるペーパード白熱教室のようでした。答えたい、参加したい、という気持ちで授業に臨みました。先生についていけ自分が成長できる、と思いました。

佐藤 それまでの学校文法の視点と全く異なる英語の世界を知りました。好きな英語を深めたくて、このゼミを選びました。



三浦 2年生のときの授業で、「このto

は前置詞だけど、その根拠は?」みたいな質問があつて。難しくてためになる質問を投げかけてくれるのが、面白くて。

遊佐 質問することで勉強が面白くなることが授業の大きな目標です。質問する力がつくと、ものの見方が変わります。

私の先生が言つた言葉ですが、学生に興味をもつてもらうことが一番大事です。そのうえで、英語を深く読む、知るためにはどうしたらいか、という最低限の技術を教えて、授業を開きました。2学期は、学生の好奇心、英語学習の動機付けを高め、結果的に英語力を伸ばすことを意識して講義を行いました。かなり厳しいことも要求しましたね。

「人間だけがもつ言語を通じて
「人間とは何か」を問う学問

高橋 ゼミでは、中学・高校で習わなかつ

た文法や、ネイティヴが使うようなフレーズが出てきて、生きた英語だと感じます。

おかげで洋楽の歌詞が理解できるようにななり、疑問をもつ姿勢が身についたことでTOEICの点数も伸びました。

いろいろな考え方があることに気づいて、

多角的に見る習慣がつきました。もちろん就職活動もスタートしますが、初対面の方と話すときに、ゼミで培った多角的

な視野をもち、自信をもつて発言できるようになります。人間力も高められたと思います。

当たり前とと思うことに着目し根本的なことを解明していく

遊佐 英語学の領域には音韻論、形態

論、発音、単語に関する領域などがあります。まず21名のゼミ生を4つのグループに分けてテーマを決めます。そこから2、3週間かけて研究し、発表することをみんなで議論しました。

授業の最後には毎回試験がありま

す。授業の内容プラスで考えて、応用

をぶつけられるので、念入りな準備が必要です。



高橋 枝里香さん



三浦 純さん



佐藤 蘭さん



四倉 朱音さん

英文学科
遊佐 典昭 教授

[英語学基礎セミナーの皆さん]

四倉 朱音さん(3年)

佐藤 蘭さん(3年)

三浦 純さん(3年)

高橋 枝里香さん(3年)



要ですし、時間をかけることで自分の身になります。ときに生徒同士で教え合うようなフレゼンテーションもあります。

高橋 私たちのグループは形態論を研究しました。単語を組み合わせて、どういうルールで英単語ができるのか。答えはなんとなく見えていても、先生に質問されるとすぐに困らないように考えました。

遊佐 単語の組み合わせは、ピコ太郎のApple-Penみたいだと(笑)。Apple-Penはペンのことで、英語や日本語は右に行く単語が中心になるという規則があります。よく例に出されるのがワニ(バナナはbanana、バナナはワニ)になるという原則。そういうことを、英語を習わない子どもや赤ちゃんが判断できるのはなぜか。人間が生まれながらにもつてある知識とは何か、そういうことを追求するのが言語学です。

三浦 私は佐藤さんと同じグループで、音

韻論を研究しました。英語で動詞原型の語尾に-edをつけて過去形にするとき、同じように-edをつけて無聲音と有聲音になる違いは何か、というとです。

佐藤 私はこの領域を担当して、今まで機械的に思っていたのが、ルールを覚えてしまえば、初めて見た単語でも無聲音か有聲音かわかるようになりました。

四倉 私は、佐藤さん、三浦さんが担当した領域の基礎で、音の構造や口の中の仕組み、英語の発音の特徴を説明しました。声には2種類あり、喉に手をあてたときに震えるのが有聲音、震えないのが無聲音です。特に英語にする音の基礎、日本語にない発音などを調べました。**遊佐** 有聲音と無聲音は、日本語だと、なぜ「あ」に濁点がつかないか、といった質問のようなものです。みんなが当然と思うようなことを問うることから学びが始まっています。

決めたことを最後までやり抜くやつた分だけ自分に返つてくる

四倉 日本語の濁点は、声帯が震えるマクです。「カキクケコ」に共通する子音のkは声帯が震えませんが、濁点をつけて「ガギグゲゴ」となると語頭がgとなり、ミクロな世界ですが、英語を理解する上でも重要です。

声帯が震えるというわけです。「見すると『ガギグゲゴ』になると語頭がgとなり、世界に行つても、このゼミで学んだ知識が

四倉 日本語の濁点は、声帯が震えるマクです。「カキクケコ」に共通する子音のkは声帯が震えませんが、濁点をつけて「ガギグゲゴ」となると語頭がgとなり、ミクロな世界ですが、英語を理解する上でも重要です。



を得てもプロフェッショナルになれない時代です。人工知能がますます進化していく

遊佐 この1年で皆さんのが成長を感じています。皆さんも、能力は固定的なものではなく、変化しうるものであるという

ことを体験したと思います。学生の能力を伸ばすことに熱心な先生が多いのが、

英文学科の特徴です。今まででは知識を得ればプロになれましたが、今後は知識

役に立つと思います。



遊佐

私は、英語の副詞の位置によって動詞の意味が若干変わること、文の意味やニュアンスが変わるのはなぜか、という副詞の性質について書いています。

高橋 私は、レポートで苦しんでいたことを最後までやり抜く力が大事」と、おろげなく話してくれました。

遊佐 11月にレポートのテーマを決めて1ヶ月の締め切りまでに3回添削して、赤字をたくさん入れて返したのですが、時間

をかけて書くことを体験してもらいました。難しくて迷つたらハイリスク・ハイリターンで挑戦しよう、と言いました。

三浦 私は、中学校で習った「動詞+ing (...している)」という現在進行形が、英語と日本語の意味で大きなギャップがあることに着目しました。aspect(相)という「物事が進行している、継続している、完了している」ということを表す言語学の用語があり、そのなかの英語と日本語の進行形の違いです。

遊佐 "Train is stopping." は、英語だと「汽車が止まりつつある」で止まっています。

四倉 "Can I do it?" を聞くと Yesか Noしか答えがないけれども、頭に How



を得てもプロフェッショナルになれない時代

です。人工知能がますます進化していく

なかで、人間しかできないことは、ものごとを創造することです。常に "Why"

を問い合わせるものごとを見ていけば、どの世界に行つても、このゼミで学んだ知識が

4 Partir



「事実を見極めるプロセス」を学ぶ

日本文学科 古田 正幸 准教授



私が専攻する中古文学（平安朝文学）は平安時代の文学で、恋が多く描かれているのが特徴です。仏教の影響も色濃くありますが、恋愛などに普遍的な感情が見出せる点で、現代人にも親しみやすい文学だと思います。

日本は千年以上も前の古典の作品が数多く残っている貴重な国です。私が古典文学を専攻したのは、内容の楽しさに

恋をテーマにした作品が多く 親しみやすい平安朝文学

私が専攻する中古文学（平安朝文学）は平安時代の文学で、恋が多く描かれているのが特徴です。仏教の影響も色濃くありますが、恋愛などに普遍的な感情が見出せる点で、現代人にも親しみやすい文学だと思います。

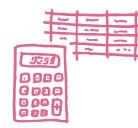
疑問をもつことを原点に 調べて自分の視点で考える

いてあることは答えではありません。自分で調べてみると「この説明は違うかもしれません」という疑問がわいてきます。疑問があるから調べる、調べて自分なりに考えて消化すると発見がある。そこで初めて「作品として本当に読む」ことになります。

ネット検索の活用もいいですが、間違った情報が多くあります。事実を見極めるには専門的な勉強が必要で、結局は原点

「すべてのビジネスの基礎」を学ぶ

現代ビジネス学科 渡部 美紀子 准教授



会計は、現代のビジネスパーソンの三種の神器といわれる「会計、IT、英語」のひとつで「ビジネスの世界共通の言語」とも称されます。私が担当する「現代ビジネス学科」の簿記・会計の分野は、ビジネスの基本となる考え方で、どの職種や部署に就いても必ず役立つ学問です。

例えば、事業計画や企画を立てる際はいろいろな視点から検討しますが、採算性がないとビジネスとして成立しません。ある程度の会計の知識があり、お金の流れがわからないと、ビジネスの仕組みがみえてこないのです。会計はアラマックだけではありません。簿記を学ぶと、何面からも取引を見ることができて、常に発見があるので、幅広い視点が身につきます。女性がビジネスで活躍するうえで、幅広い視点をもつことは重要です。

基礎から段階を踏んで学び 続けると見えてくる学問

簿記は、企業の活動（取引）を二面的に捉えて借方（左）と貸方（右）に分けることから始まります。これを仕訳といいます。英語を学ぶときに英単語を暗記するのと同じで、仕訳に使う勘定科目をある程度覚えると、その後の勉強が楽になります。

簿記の授業では、1年間で日商簿記3級の取得を目指します。ただし、3級

どの職種にも必要な知識
幅広い視点を身につける

の試験に合格すれば3級の知識が習得できるのではなく、さらに2級試験の勉強に進んで、やつと3級の学習が理解できることがあります。段階を踏んで学び、続けていく過程で少しづつ見えてきます。

私は税理士か会計士の国家資格を取りたくて、大学では経済学を専攻しました。卒業後は会計事務所で実務に携わり、専門学校や大学院で勉強し、税理士の資格を取りました。産休期間を除いてずっと仕事や勉強を続けられたのは幸せです。

学生たちと接して、ヒントを与えると飛躍的に成長する潜在的な力を感じます。

いろいろな世界を見て活躍するきっかけを与えていたらと思い、学生を外に出す授業も企画中です。多くの学生が簿記を楽しいと思える授業を目指し、そこからさらには踏み込んで会計を勉強したい学生が出でてきてくれたら嬉しいと思います。



Profile

埼玉県出身。東洋大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程修了。博士（文学）。福島工業高等専門学校准教授を経て、2016年4月より現職。単著『平安物語における侍女の研究』ほか、源氏物語などの物語や和歌に関する論文多数。○信条「疑問を大切にする」

Profile

山形県東根市出身。東北大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士（経済学）。福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科、千葉商科大学会計学院会計ファイナンス研究科を経て、2016年4月より現職。○信条「継続は力なり」

私のおすすめ本

日本語の古典

山口伸美著(岩波新書)

古事記から江戸時代の文学までの30作品を厳選し、特に言葉に着目して、考えられることを解き明かしている本です。読んで「古典文学の言葉を調べると、こういう面白さがあるんだ」と感じてもらえたら、私の授業にもつながってくると思います。



これが学びのツボ！

わからないことがあるのはチャンスで、疑問をもつことが大切です。勉強で困ったら質問に来てください。問題解決にとどまらず、考え方やまとめ方、説明の仕方など、少しでも持ち帰って応用してもらえることがあるはずです。

私のおすすめ本

会計の歴史

友岡賛(すずむ)著(税務経理協会)

会計とは何か、どのように発展したか、について、とことんくわいて説明した本です。複式簿記、期間計算、発生主義、減価償却など、会計について学ぶときに避けて通れない概念を、わかりやすく説明しています。簿記や会計を学ぶ前も、学んでいる最中も、昔学んだ人にも読んでいただきたい1冊です。



これが学びのツボ！

簿記は、コツコツ続けることでわかる学問です。問題が一つ解けたときの「できた」という達成感を積み重ねてほしい。やればやるほどできるようになり、楽しくなります。継続は力なり。かまえずに、まずはやってみましょう。

宮城学院創立130周年 特別プログラム

完成するとキャンパス内の風景になる「特製ジグソーパズルづくり」で競争したり、礼拝堂のステンドグラス作者ガブリエル・ロワールの展示が開催されたり、来場者はMG文化に触れていました。



礼拝

開会礼拝ではやわらかなハンドベルの調べが、閉会式では「きよしこのよる」とキャンドルの灯が礼拝堂内を包み、クリスマスマーケットの「心」を全員で共有する時間となりました。



マーケット

毎年大人気のマルシェには、地元の人気店が多数出店。オリジナルスイーツや雑貨など、目移りしてしまうほどの魅力的な商品がいっぱいです、長蛇の列ができる店舗もありました。



レクチャー

「きよしこのよる」の謎に迫る講座や対話形式で考えを述べ合う「てつがくカフェ」など、クリスマスの「なぜ?どうして?」を大学教員と考えるレクチャーには、多くの方が訪れました。



ワークショップ

本場・ドイツのレシピでのシュトーレン作りやキャンドル作り、自然の素材を使った工作など、クリスマスにちなんでのバラエティに富んだ内容が大好評でした!



音楽



*3回 宮城学院 クリスマスマーケット

昨年12月に開催された宮城学院クリスマスマーケット。新たな冬の風物詩となったこの催しは、大人からこどもまで楽しめる内容が盛りだくさんでした。ここでは、当日実施された魅力いっぱいのコンテンツをご紹介します。

キッズ

絵本の読み聞かせや手遊び、クッキーへのお絵かきに加えて、広々とした中庭で思い切り遊び回るなど、こどもたちは冬のキャンパスを満喫しました。



フード

「フードマルシェ」でドイツ仕込みのドリンクを楽しんだり、「クリスマスランチ」で限定メニューを味わったり、この日にしか味わえないクリスマスの食文化を満喫しました。



音楽

開会礼拝の始まりを告げるハンドベル演奏、手回しオルガン、OGによるソプラノ＆パイプオルガン、音楽リエゾンセンター「楽友」の皆さんによるコンサートなど、来場者は“音楽の宮城学院”を堪能していました。



Action

地域とのつながり
これまでも これからも

これまで地域とのつながりを大切にしてきた宮城学院女子大学。その関係性は、これからも決して変わることはありません。ここでは、本学と地域とのさまざまなつながりをご紹介します。

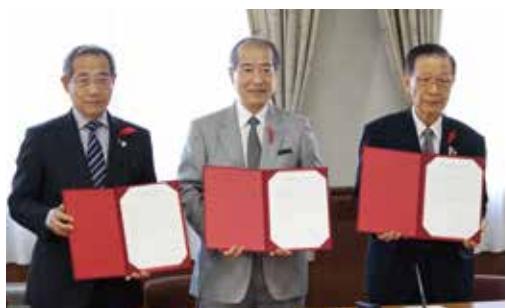
「創立130周年記念合唱団」が星野富弘コンサートで美しい歌声を披露

昨年11月26日（土）に、宮城学院創立130周年を記念して開催された「詩画と音楽でつづる星野富弘の世界—響きあう心—」コンサート。作詞・星野富弘氏、作曲・なかにしあかね教授による

創立130周年を祝って地域の方々をはじめ、本学在学生や同窓生、教職員など、約200名で結成されました。「コンサートでは『いつだったか』『秋のあじさい』『今日もひとつ』『風の旅（富弘美術館テーマソング）』を披露。会場に詰めかけた約1,000人もの観客からは、大きな拍手が送られていました。



中央共同募金会・宮城県共同募金会と共同宣言を締結



ヴォスクオーレ仙台と連携協定を締結



12月2日（金）

本学とフットサル
フレーズに所属す
るヴォスクオーレ仙
台との間で連携協
定が締結され、締

結式が本学キャンパスで行われました。本学からは平川新学長が、ヴォスクオーレ仙台からは坂本理代表取締役が、それぞれ出席しました。協定書への調印後、平川学長と坂本代表取締役は互いのサインの入ったユースームを交換。その後しっかりと握手を交わし、今後の積極的な連携約束しました。また翌日のペスカドーラ町田戦が「ミヤガクデー」として開催され、試合前に本学よさこい部が演舞を披露したり、心理行動科学科・大橋智樹教授のゼミ生らが来場者アンケートを実施したりしました。

10月4日（火）本学と中央共同募金会と宮城県共同募金会の三者による共同宣言が締結されました。赤い羽根共同募金の活動で知られる共同募金会。地域に対する貢献活動の理念が本学と合致していることから、今回の共同宣言締結となりました。

書にサイン。また、現在進行中の「寄付つき缶詰販売プロジェクト」も紹介され、製作に携わった食品栄養学科の学生らが商品説明を行いました。なお缶詰の売上の一部は、地域福祉向上のための活動に寄付されます。

締結式では、本学の平川新学長、社会福祉法人中央共同募金会の中島謙次常務理事、社会福祉法人宮城県共同募金会の樋口稔夫会長が、調印

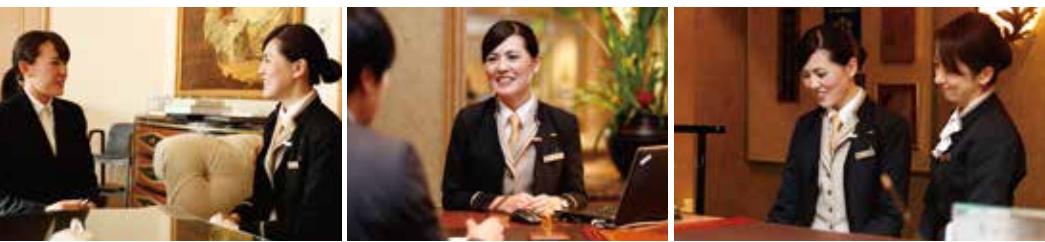
社当時の上司の言葉ですが「まあ、いい身だしなみやお客様を名前でお呼びすること、顔を覚えることは基本です。入ることを意識しています。きちんとしました」

「**仕事を内容と、心がけていることを教えてください。**

入社して2年半、レストランでホール業務やレストランウェディングを経験してから、ゲストリレーション部に配属され、チケット・チックアウト業務を担当しています。フロントはお客様が一番先に訪れる場所なので、ゆったりとした時間と空間をつくることを意識しています。きちんとしました」

「**仙台ロイヤルパークホテル**に就職を希望した理由は?」

高校時代から、華やかでキリリとしたイメージのホテル業に憧っていました。仙台ロイヤルパークホテルへの就職を志したのは、お客様の大切な記念日を素敵に演出する「アバーサリーホテル」というコンセプトに惹かれたからです。



「大学時代の経験が活かされていることは?」の問い合わせに「ラクロス部で培ったチームワーク。英語を使う機会もあります」と阿部さん



洗練されたロビーのフロントカウンター。お客様に負担をかけないようソファに座ったままチェックイン・チェックアウトができる



「上司の振る舞いや仕事ぶりがお手本」と話す阿部さん。お客様の想いに対して真剣に向こう合う先輩の姿勢に学ぶことが多いという

「**仕事の魅力を教えてください。**

か」という気持ちは必ずお客様に伝わり、失敗につながります。何らかの楽しい目的をもつてホテルに訪れるお客様の期待を裏切らないよう、誠心誠意向き合いう心がけています。

「**仕事の魅力を教えてください。**

印象に残っているのは、料飲部にいたときにお客様のサプライズプロポーズをお手伝いして感謝の手紙をいただいたこと。フロント業務では、リビーターのお客様が覚えていてくれたり、「泊まってよかつた」「ゆっくりできた」「また来るね」という言葉を直に聞けることが本当に嬉しく感じます。お客様との温かい交流が、やりがいになっていますね。

「**入社してからの10年を振り返って、良かったことは?**

中堅になって自分で判断することが求められたり、後輩を育てる立場になり、上司の苦労がわかりました。先輩から多くを学んできましたが、これからは尊敬する先輩上司の手となり足となつて、信頼される存在になりたいと思います。また、女性社員はほとんどが産休をとつて職場に復帰しています。働きやすい環境が整っているので、私自身も長く仕事を続けていきたいと思っています。

学生時代からの目標であり、憧れていったホテルのフロントで働かせていただいている

ことに感謝と幸せを感じています。ホテル業は人と接するのが好きでお節介なく見知りをするほうですが、先輩の仕事をりや助言から堅苦しくかまえないことを学び、お客様と徐々にいい関係が作れるようになりました。最近は「気遣いができるようになった」と家族に言われたり、生きるようになりました」と家族に言われたり、多少成長できたと感じています。

「**今後の目標を教えてください。**

められたり、後輩を育てる立場になり、上司の苦労がわかりました。先輩から多くを学んできましたが、これからは尊敬する先輩上司の手となり足となつて、信頼される存在になりたいと思います。また、女性社員はほとんどが産休をとつて職場に復帰しています。働きやすい環境が整っているので、私自身も長く仕事を続けていきたいと思っています。

Profile 阿部 恵さん

宮城県大崎市出身。2008年3月、宮城学院女子大学英文学科卒業。大学時代はラクロス部に所属し、東北学生チャンピオンに。2008年4月、株式会社東北ロイヤルパークホテルに入社。1ヵ月の研修期間を経て、料飲部で接客経験を積み、2010年11月よりゲストリレーション部に配属され、希望のフロント業務に就く。

お客様の特別な日を彩る憧れのホテルの顔として働く幸せを実感しています



株式会社東北ロイヤルパークホテル
阿部 恵さん

サークル紹介 01

ラクロス部

- 部員数: 18名
- 活動日: 毎週月・火・木・金・土曜日
- 活動場所: グラウンド

大切にしているのは「チームプレー」と
「最後まであきらめない気持ち」

部員のほとんどが、入学後に競技を始めるラクロス部。日々の練習では、特に「声を出すこと」「コミュニケーションを図ること」を心掛けている。私たちのチームは、他大学に比べて部員数が多いわけでも、ずば抜けた能力を持つ選手がいるわけではありません。それでも今年のスローガンである「全員戦力」の下、部員全員が「チームプレー」と「最後まであきらめない気持ち」を大切にしながらプレーしています。

今年こそは、悲願の
東北地区チャンピオンに!

目標は、8月開幕の東北地区ラクロスリーグでの優勝。昨シーズンはリーグ戦2位でしたが3位チームに敗れ、ファイナル進出を逃しました。(3位のチームには)リーグ戦で勝っていたため、心のどこかに「次も勝てる」というおごりがあったのかもしれません。今年のリーグ戦ではそういった“ツメの甘さ”をなくし、かつてリーグ戦2連覇(2013、2014)を成し遂げた先輩たちのように、優勝カップを掲げて記念撮影をしたいですね!



キャプテン
河野 由麻さん
(食品栄養学科3年)

サークル紹介 02

チアリーディング部

- 部員数: 9名
- 活動日: 毎週月・火・木曜日
- 活動場所: 大学体育館

見る人に届ける“笑顔”と“喜び”
笑顔のスポーツチアリーディング

私たちチアリーディング部RED BULLETSは「明るく、楽しく、笑顔を絶やさず」をモットーに活動しています。この競技の一番の魅力は、見る人に笑顔と喜びを届けられるところ。自分たちの演技を見た人々が笑顔になり、喜んでもらえた瞬間に、とてもやりがいを感じます。チアリーディングにとって“笑顔”は演技の一部なので、普段の練習から演技中の表情を意識するようにしています。

昨年末の全国大会で奨励賞を受賞
次なる目標は夏の全国大会出場!

全国各地で開催される大会に出場するほか、大学祭、夏祭りや老人ホームでの演技披露など、さまざまな大会・イベントに積極的に参加しています。全国大会は年2回(夏場と年末)開催されるのですが、昨年末に開催された「全日本選手権大会」では奨励賞を受賞しました。次の目標は、夏に開催される全国大会に出場すること!笑顔を絶やさず、メンバー同士でコミュニケーションをとりながら練習を重ねて、目標を達成したいです。



キャプテン
谷藤 加奈さん
(生活文化デザイン学科2年)

1200「いいね!」突破!



大学公式facebookに「いいね!」しよう!!

宮城学院女子大学に関する情報が
いっぱいの公式facebook。おかげ
さまで、1200「いいね!」を突破しま
した!未登録の方は、ぜひアクセスして
「いいね!」してくださいね!

www.facebook.com/mgu.ac.jp



あとがき



1月17日(火)、ブライダル
フェアの第一回者である桂由美さんを迎えての
ブライダルトークセミナーを開催されました。



ブライダルトークセミナーが開催されました。
当時は、桂さんの結婚や子育てなどについての貴重な話のほか、オーディションで選ばれた学生たちが桂さん制作のドレスを着用するファッションショー、学生向けのネイルアートやアーレンジ体験などの多彩なプログラムも実施されるなど、非常に華やかなイベントとなりました。



1月23日(月)、楽天イーグルス嶋基宏選手のトークショーが開催されました。楽天野球団と連携協定を締結する本学ならではのイベントで、進学を希望する学生に期待するところなどについて話をしました。また桂さんは、平川新学長とも対談。和やかな雰囲気の中、これまでの学生に期待するところなどについて話をしました。

野球団の立花陽三社長、会場の礼拝堂には、約300人のMG生たちが詰めかけました。G生たちはなんと楽天行役を務めたのはなんと楽天野球団の立花陽三社長。会場の礼拝堂には、約300人のMG生たちが詰めかけました。

グラウンドでの真剣な表情とは異なり、終始にこやかな表情と見をしたい」と話すと、会場内は黄色い大歓声に! 続く質問コーナーでは、嶋選手が学生からの質問に丁寧に回答。質問終了後には記念撮影も行われるなど、嶋選手はMG生たちのハートをがっちり「ワシヅカミ」にしていました。

いよいよ卒業シーズンが到来。今年も多くの学生が、慣れ親しんだ学び舎を後にします。卒業生一人ひとりの進路は決して、同じだ学院女子大学で過ごしたかけがえのない4年間は、5年、10年と月日が流れても決して色あせることなく、心に刻まれ続けることでしょう。旅立ちは、再会への第一歩。今よりも一回りも二回りも成長して、このキャンパスに帰ってきてください。桜ヶ丘キャン